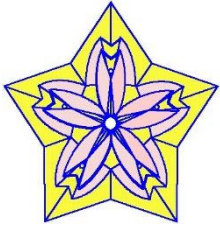


平成29年10月31日



とべだより

11月号

横浜市立戸部小学校
校長 柳澤 潤

「夢をもち、夢を実現する子ども」をはぐくむ



学校長 柳澤 潤

「実りの秋」です。秋見つけに公園に出かける子どもたちが、手のひらいっぱい収穫してくるのは、ドングリの仲間。様々な果実が実を結ぶ、豊かな季節です。11月2日（木）は、本校が取り組んできた生活・総合の授業研究を全国に発表する日。「夢をもち、夢を実現する子ども」を研究主題に掲げ、全ての学級が授業を公開します。

先日、講師の奈須正裕先生（上智大学教授）からご指導をいただく機会があり、「戸部小には、子どもが成長する風土ができています」と、励ましをいただきました。本校の生活・総合の研究は、15年目になります。この継続研究を通して、子どもたちは、地域と関わることを好むようになり、自分たちのやりたいことを見つけ、最後までやり抜こうとする態度を身に付けてきました。公開授業では、主体的に学習に取り組む姿や、力を合わせて問題解決に向かう姿、そして、培ってきた確かな力を、参会される全国の先生方に見ていただきたいと願っています。

先週の10月22日（日）には、学校近くのコミュニティハウスのまつりに、「フラ」と「パネルシアター」の演目で、二つの学級が参加。まちの人たちが見守る中で、堂々と演じ、笑顔で発表することができました。子どもたちは、よりよい発表に練り上げていくために、見ていただいた地域の方にアンケートをお願いしていました。たくさんの拍手やまちの人からほめていただいた経験は、子どもの自己有用感や自己肯定感を高めていきます。「ぼくたちのグループのプレゼントは、スマイルだよ」と、ある子がさりと言ったのが印象的でした。

本校では、「『夢をもつ』とは、真に意味や価値のある、よりよい「～したい！」という思い・願いをもつこと」と、とらえています。子どもの自由な発想が学級の夢へと高まり、目標となっていきます。ですから、学級ごとの生活・総合は、「夢の実現」に向けてだれもが真剣になるのです。

それぞれ一人ひとりが自立し、解決に向けてみんなで相談、協力し、夢の実現を通して価値を創造していく……。このことは、学校教育目標の「それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部」と響き合っています。今回の公開を弾みにして、力強く、夢いっぱいの学校づくり、そして、未来を拓く人材の育成に取り組んでいきます。

授業公開を迎えるにあたっては、保護者の皆様の応援もいただきました。PTAでは、全教室のカーテンクリーニングや、ガラス拭きを計画してくださいました。カーテンは取り外しから洗濯、吊るすところまで。ガラス拭きは、脚立に乗ったり道具を使ったりして手の届かないところまで。一日のうちに大勢の方が、一気に作業をしてくださいました。公開当日の運営にも力を貸していただきます。また、おやじの会の皆様は、全階の廊下の蛍光灯を取り外し、雑巾で汚れを丁寧にふき取ってくださいました。ふれあい館の障子の張り替え、図書館のカーテンの張り替えもしてくださいました。みんなが子どもたちの環境を整えるために、気持ちよく汗を流してくださいます。こんなふうにご支援して下さるのも、戸部小のよさです。感謝を申し上げます。

教職員も研究・研修に励み、よりよい環境の中で子どもたちの健全な育成に取り組んでいきます。今月も地域・保護者の皆様、どうぞよろしく申し上げます。